



たのしい新田

新田中学校だより
令和3年 11月 11日

- ・確かな学力を身につけ、自ら学ぶ、あきらめずに挑戦する生徒を育みます。
- ・のびのびと主体的に行動し、人権を尊重する豊かな心の生徒を育みます。
- ・心身ともに、明るく健康に生きる生徒を育みます。
- ・意欲的に社会貢献する、公共心の高い生徒を育みます。
- ・新しい時代に生きる、グローバルな視野の広い生徒を育みます。

校長 築瀬 一爾 〒223-0058 横浜市港北区新吉田東五丁目25番1号
HP : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nitta/>

コロナ禍における今できること

養護教諭 小谷 沙代

秋も深まり、冬もすぐそこまで来ています。長かった緊急事態宣言も明け、早くも1か月が経ちました。新規感染者数も一桁の日も多く、このまま落ち着いてほしいところです。寒い時期になりますと、インフルエンザなどの感染症も増えてきます。学校では、手洗いの徹底、消毒、マスクの着用、換気など、感染症予防のために指導を継続していきます。ご家庭でも体調管理や適切な睡眠時間の確保、健康観察の徹底など、基本的な感染症対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

軽度の風邪症状（咳・のどの痛み、頭痛・発熱、腹痛、倦怠感など）でも、PCR検査をしてみると陽性であることもあるそうです。お子さんや同居のご家族に風邪症状がみられる場合は登校を控え、医療機関を受診していただくようお願いいたします。また、ワクチン接種による副反応を訴えるお子さんも多いため、接種後は安静にするなどご配慮をお願いいたします。

昔から、いろいろな感染症が流行し、原因や治療法がわからず多くの人が命を落とすことがありました。しかし、今では特効薬が開発され、根絶している病気もかなりあります。いつかはコロナウイルスも「ただの風邪」といえる日が必ず来ると信じ、今できることを行っていくことで感染症予防に努めてまいります。

改めて、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

前期を振り返って

一年学年代表 橋本 果南

前期を振り返って、私は入学当時、中学校の勉強についていけるか、小学校の時のように先生と仲良くできるかなと思いながら入学してきました。

また、他の小学校から来た人達とも仲良くできるかなど色々なことが不安でした。しかし、新田中で一、二週間と過ごしているうちに不安だった事も日に日に減っていきました。今では楽しい学校生活を送れています。

前期のイベントはコロナの関係で体育祭しかできませんでしたが、私は、この体育祭でのリレーや大縄などを団結してやり、クラス皆の距離がとても近づいたと思っています。他にも二、三年生のリレーや三年生のソーラン節などにも圧倒されました。中学生になり、小学校と特に変わったことはテストだと思います。中学校のテストは小学校と違って問題の量や難しさが全く違いました。なので日々の積み重ねがとても必要だと思いました。今日で前期が終わり、新たに後期が始まります。後期は二年生になるための準備の半年間です。また、二年生は学校の柱と言われる大事な学年です。後期では楽しんでやる場所はしっかりと取り組めるメリハリやけじめのつけられる学年にしていきたいです。そしてどんな事にも全力で一生懸命取り組めるみどり学年になりたいと思っています。

二年学年代表 久保 慎之助

前期は学校行事である体育祭がありました。競技を全力で頑張ること、そして体育祭をスムーズに進行することができるように委員会や部活の係活動などを全力で行うことができ、二年生の良いところがたくさん出ていたと思います。その一方で体育祭にいらぬものを持ってきている人がいたり、ルールを守らない人もいました。その事も踏まえて来年の体育祭はそのような事がないようにしたいです。

普段の学校生活ではみんな仲が良く、楽しく過ごせています。盛り上げるところはしっかり盛り上がれますが、静かにしないといけない時に静かにならない事があるので、そこを改善していきたいです。夏休みが延長され分散登校が始まり、しばらくクラスが半分でしたが、しっかりと授業が受けられたり仲良くできたりと、通常の登校と変わらずに分散登校での生活を送れたと思います。

いよいよあと六か月で三年生です。三年生になると最高学年になり、新田中学校の顔となり、学校を引っ張っていかなければなりません。二年生の後期は最高学年になるための準備をしなければいけない期間です。二年生の後期をしっかりと楽しみ、けじめ、メリハリをつけて良い所を伸ばし、よりよい赤学年にしていきたいです。そして三年生になった時に素晴らしい三年生になれるように頑張りたいです。

三年学年代表 佐藤 結郁

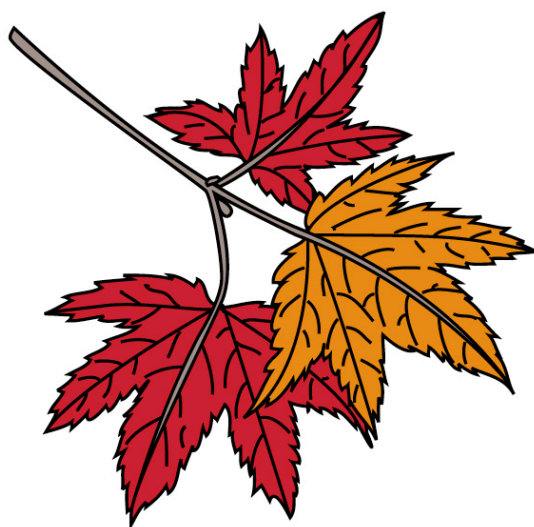
私は前期の活動を通して2つの視点から振り返ってみたいと思います。

1つ目は、クラスの学級委員としての振り返りです。私たち3年1組は生徒同士の仲が良く、また先生と生徒の仲も良いクラスです。体育祭ではクラス一丸となって一生懸命に取り組み、大縄で1位をとることができました。クラス紹介のビデオでは男女それぞれが完成に向けて頑張りました。ほぼ毎日笑いが起こるクラスですが、騒がしくなりすぎてしまうといった課題もあるので、後期で改善し気持ちよく卒業したいです。

2つ目は、学級委員長としての振り返りです。ちょうど1年前、立候補者が7人もいた中で私は学級委員長の座を勝ち取りました。クラスで輝いている人を紹介する「ダイヤの原石」というプログラムが実現できなかったり、集会やレク・さまざまな学校行事が中止になったりと心残りの部分が多いです。それでも、私なりに学年間の壁をなくして、みんなが意見を出し合える環境にするにはどうしたら良いかを考えて委員会を運営してきました。10月25日の常任委員会で委員長の座は2年生に引き継ぎますが、後期も学級委員をやらせていただくので、卒業までの約5か月間で私なりにできることを全力で取り組んでいきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

前期よくがんばりました！

後期もみんなで協力していきましょう！



水泳部の選手からのコメント



3年3組 関口 歳多

「新記録のお知らせです。(中略)また、第6レーンを泳ぎました関口君(新田)は、共に本大会新記録を樹立いたしました。」とアナウンスが流れ、「やった!」と嬉しさのあまり、水面を強くたたきました。

関東大会3日目、100m自由形に出場した時のことです。前日の50m自由形で、結果を出すことができなかったので、この100mでは、新記録を出してやるという思いで挑んだレースでした。リズムを崩さないことを意識して泳いだ結果でした。

同時期にオリンピックが開催され、コロナ禍で思うように練習ができなかったり無観客でも活躍している選手達から、刺激を受けました。

関東大会が開催され、協力してくれた方々に感謝しています。応援してくださったみなさんありがとうございました。これからも頑張ります。



3年4組 木村 麗咲

私は関東大会に100m平泳ぎで出場するのは2回目でしたが、前回よりもタイムと順位を上げることができました。でも、ベストタイムより0.6秒くらい遅いし、6位という順位になってしまって、すごく悔しいです。前回の1年生の時は会場が群馬県でみんなとホテルに泊まったりしてすごく楽しかったけど、今回は神奈川県で近い会場でコロナの影響もあり、声を出さずに応援しなければいけないなど、制限が多くて大変でした。私は、この会場で行われる大会によく参加するため、慣れているからこそもっといいタイムを出したかったけれど、レースの後半少し失速してしまいました。今回の大会でたくさん直すところや強化しないといけないところがあるなと思いました。なので、これからもタイムを少しでも伸ばせるように、今回の大会で見つけた課題を一つひとつクリアできるようにしっかりと何をしないといけないかを考えながら練習していきたいです。

2年1組 杉下 陽

僕が関東大会に出場して思い出に残っていることは200m個人メドレーのレースです。200m個人メドレーは僕が一番得意な種目なのでとても気合いが入っていました。ですが前日の別の種目のレースでは調子が悪く、焦りや不安も感じていました。

レース当日はなるべく気持ちを切り替え前半から積極的なペースで泳ごうと考えていました。しかし、本番はイメージ通りにはいかず、いつもの泳ぎができませんでした。原因は練習の取り組みと気持ちの問題だと思います。練習でレースを想定してできなかった点や来年もあるという気持ちが甘かったと思います。

関東大会では自分に足りないことがわかったのでこれから生かして努力していきたいです。



2年3組 瀧 暁音

私は、関東大会で目標としていた8位以内というのは達成できなかったけれど200m個人メドレーではベストタイムを出せたので良かったです。そして、エントリータイムよりも順位を上げることもできました。400m個人メドレーではベストタイムを出すことができませんでしたが、周りからいい刺激をもらえてとても良い経験になりました。自分の新たな課題も見つけることができ、これからもっとがんばろうと思いました。また、関東大会ということもあり他県の子とも交流することができました。200m個人メドレーでは一緒に泳いだ埼玉県の子と友達になれました。同県では、今までライバル視していた子とも仲良くなれ、大会のウォーミングアップを一緒にやれていい思い出もできました。

来年は、今年よりももっと成長して全国大会に出場できるように練習をしていきたいです。



関東大会お疲れさまでした！
次の大会も頑張ってください！

陸上競技部の選手からのコメント



3年1組 古里 優芽

私は、関東・全国を決める大会の前に怪我をして十分に練習が出来ない時期がありました。この時練習できなかった分を取り戻そうと復帰してから今に至るまで助走のスピードを出す練習や強く踏み切る練習、休みの日には自主的に走ったりと自分なりに努力してきました。迎えた関東大会当日。緊張して身体に力が入ってしまったせいかいつもの力を発揮することが出来ず悔しい結果となりました。私はここでメンタルの弱さを痛感しました。なのでこれからはメンタルを強化しつつ、この悔しさをバネに練習に励んで最後には自己ベストを出して終われるようにしたいです。

そして、正門に横断幕を貼ってくださったり、大会参加のサポートをしてくださったり、沢山の応援ありがとうございました。残り少ない部活動も頑張るので応援していただけると嬉しいです。



3年5組 植木 雲雀

自分の力を十分に発揮することができませんでした。今までとは違い強い選手がたくさんいる中での競技だったのでとても緊張してしまいました。まだ自分の力不足、心の面での部分、関東大会を通して色々な課題が出てきました。次の大会ではその課題を埋めて良い結果を残せるよう練習していこうと思います。今回の大会のためにサポートや応援をくださった先生方、そして部活の仲間からの応援、たくさんの方からの応援が私の力となり頑張ることができたと思います。本当にありがとうございました。



3年1組 山田 晃央

全国大会では自分のベストな走りをする事ができませんでした。今年は大会ごとに調子を上げてきていて1500mの関東で2位、この記録は全国ランキング5位になり、全国でも戦えるのではと気が緩んでいたのかもしれませんが。大会前は雨が続き、グラウンドでのタイムトライアルができず、自信をつける事ができませんでした。また、気の緩みから、室内練習で画びょうを踏んで靴を壊してしまったり、雨上がりの練習でマンホールに乗って転んだりとマイナスなことが続き、気分を上げて大会に臨む事ができませんでした。レースでは1000m~2000mのラップが落ちていることにも気づかず、2000mからは先頭のペースアップについていけず、差も開いてしまい、気持ちが切れてしまいました。ベストを出す事ができなかったこと。決勝に行けなかったこと。全中標準すら切れなかったこと。領家の藤谷君に負けたこと。たくさんの人に応援してもらっていたのに期待に応えられなかったこと。悔しすぎて涙が止まりませんでした。全中では記録を出すことの難しさ、それでも記録を出している強い人たちとの差を感じました。中学から陸上をはじめた僕を全中出場まで育ててくださり、全中でもつきっきりでサポートしてくださった松川先生には感謝しかないです。Tシャツもズボンもありがとうございました。全中を終えて新たな目標ができました。インターハイで戦うことと、笠松運動公園にてもう一度走ってリベンジすることです。この悔しさを糧にこれからも頑張りたいです。



関東・全国大会お疲れさまでした！